

各ステージ出演者50音順

あ



伊藤悠貴(Vc)

15歳で渡英。2010年ブラームス国際コンクール、2011年英国の最高峰・ウィンザー祝祭国際弦楽コンクールで日本人初優勝。“世界クラスの大器”(ストラッド誌/レコード芸術誌)と評され、日本を代表するチェリストとして国際的な演奏活動を行っている。
2011年フィルハーモニア管弦楽団定期公演にてデビュー以来、国内外主要オーケストラ、V.アシュケナージ、D.ゲリングス、小澤征爾、大友直人、山下一史、横山幸雄、梯剛之らと共演。2016年に宮沢賢治生誕120年記念NHKリサイタルを開催、その映像は世界各国で放映され、100年記念にはヨーヨー・マが行った大役を担った。2018年6月には音楽界の殿堂ウィグモア・ホールでのリサイタルデビューが決定している。

297字



上野耕平(Sax)

第28回日本管打楽器コンクールサクソフォン部門において、史上最年少で第1位ならびに特別大賞を受賞。学生時代にCDデビューを果たす。
2014年第6回アドルフ・サククス国際コンクールにおいて、第2位を受賞。
常に新たなプログラムにも挑戦し、サクソフォンの可能性を最大限に伝えている。
現在、演奏活動のみならず「題名のない音楽会」、「報道ステーション」等メディアにも多く出演している。昭和音楽大学の非常勤講師。
The Rev Saxophone Quartet、ぱんだウインドオーケストラコンサートマスター。

223字

か



金子三勇士(Pf)

1989年、日本人の父とハンガリー人の母のもとに生まれる。6歳で単身ハンガリーに渡りバルトク音楽小学校に入学。2001年、11歳でハンガリー国立リスト音楽院大学(特別才能育成コース)に入学し、2006年に全課程取得とともに帰国。東京音楽大学付属高等学校に編入、同大学、大学院を修了。2008年バルトク国際ピアノコンクール優勝の他、数々のコンクールで優勝。第22回出光音楽賞他を受賞。これまでに、ゾルタン・コチシュ 指揮/ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団、準・メルクル指揮/読売日本交響楽団、ジョナサン・ノット指揮/東京交響楽団等と共演。海外ではハンガリー、アメリカ、フランス、ドイツ、オーストリア、スイス他各国で演奏活動を行なう。2018年4月よりNHK-FM「リサイタル・ノヴァ」の支配人として番組を担当する。キシュマロシュ名誉市民。スタインウェイ・アーティスト。オフィシャルHP <http://miyuji.jp/>

417字



小林沙羅(Sop)

東京藝術大学及び同大学院修了。10年度野村財団奨学生、11年度文化庁新進芸術家在外研修員。14年度ロームミュージックファンデーション奨学生。10～15年ウィーンとローマにて研鑽を積む。06年『バステアンとバステイエンヌ』でデビュー後、東京芸術劇場『トゥーランドット』リユー、兵庫県立芸術文化センター『こうもり』アデーレ、新国立劇場『パルジファル』花の乙女等に出演。12年ブルガリア国立歌劇場『ジャンニ・スキッキ』ラウレッタで欧州デビュー、海外へも活動の幅を広げる。15年野田秀樹演出、井上道義指揮『フィガロの結婚』にスザンナ役で出演し好評を博す。17年『カルメン』ミカエラで藤原歌劇団に初出演を果たした。九州交響楽団とは16年1月のニューイヤーコンサートで共演。16年秋セカンドCD「この世でいちばん優しい歌」をリリース。2017年第27回出光音楽賞受賞。日本声楽アカデミー会員。藤原歌劇団団員。

400字



小林美樹(Vn)

2011年、第14回ヴェニヤフスキ国際ヴァイオリンコンクールにて第2位入賞。これまでに、NHK交響楽団・読響・日本フィル・都響・東響・京響など多くの国内主要オーケストラと共演する他、マキシム・ヴェンゲーロフ氏の指揮や彼から推薦を受けたポーランド主要オーケストラとも共演している。2016年春のトヨタ・マスター・プレイヤーズ・ウィーンではソリストに抜擢され国内4都市でのツアーではウィーンフィルコンサートマスター、シュトイデ氏と共演し絶賛を博す。紀尾井ホール・王子ホール等、各地でのリサイタルや、鎌倉芸術館ゾリスTEN等、室内楽にも精力的な活動を展開している。2014年第24回出光音楽賞を受賞。「レコード芸術」誌の特選盤・推薦盤を含む3枚のCDをリリースしている。桐朋学園ソリストディプロマコースに特待生として入学後、ウィーン私立音大で学んだ。これまでに徳永二男氏・パヴェル・ヴェルニコフ氏から多くの薫陶を受けたほか室内楽は東京クアartet、毛利伯郎・岩崎洸の各氏に学ぶ。

422字

さ



サラ・オレイン(Vn,Vo)

オーストラリア出身。
5歳よりヴァイオリンを始め国内で優勝を重ねる。シドニー大学で音楽・言語学を学び最高点で卒業。東京大学留学生として来日、3オクターブを超える音域と1/fゆらぎ波長を持つ。ヴァイオリニスト、ヴォーカリスト、作詞作曲、絵本の翻訳、コピーライター。FM(東京&大阪)レギュラー番組パーソナリティ、NHK Eテレ「おとなの基礎英語」2年連続出演。最新アルバムは、2017年10月25日に発売したサラ・プロデュース5thアルバム「Cinema Music」。

198字



反田恭平(Pf)

高校在学中に、第81回日本音楽コンクール第1位入賞。
2014年チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院に首席で入学。現在はショパン音楽大学に在学。
2015年イタリアで行われている「チッタ・ディ・カントゥ国際ピアノ協奏曲コンクール」古典派部門で優勝。年末には「ロシア国際音楽祭」にてマリインスキー劇場デビューを果たす。
2016年のデビュー・リサイタルで、圧倒的な演奏で観客を魅了し、昨年は全国ツアーで約20000人を動員、そして2018年は室内楽のプロデュースするなど等、デビューから2年、もつとも勢いのあるピアニストとして注目されている。

251字

た



丹呉由利子(Mez)

神奈川県出身。昭和音楽大学卒業、同大学大学院修了。第47・51回日伊音楽コンクール入選。折江忠道氏に師事。大学院在籍中に昭和音楽大学オペラ「ピーア・デ・トロメイ」(日本初演)のロドリゴに抜擢されオペラデビュー。その後、文化庁人材育成支援公演「ジャンニ・スキッキ」ツィータ、「魔笛」侍女Ⅲ、「愛の妙薬」ジャンネッタ、「フィガロの結婚」ケルビーノ及びマルチェッリーナ、「オベルト サン・ボニファーチョ伯爵」クニーツァ、「カプラーティ家とモンテッキ家」ロメオ等に出演。藤原歌劇団に15年「ラ・トラヴィアータ」のフローラでデビュー。16年「愛の妙薬」のジャンネッタ役を経て、17年「セビリヤの理髪師」ロジーナでプリマデビューを果たした。

その他、M.デヴィーア氏のオーディションにより抜擢され、文化庁委託事業「オペラアリア・コンサート」日本ヴェルディ協会主催ヴェルディマラソンコンサートシリーズに出演する他、「メサイア」「第九」等、宗教曲のソリストを務める他、インターネットラジオ「OTTAVA foresta」、BS-TBS「日本名曲アルバム」等の収録にも参加している。15年にはFACPアジア文化交流促進連盟により抜擢され、韓国ソウルでのミュージカルの祭典に参加。16年には川崎市と韓国の友好親善事業の一環として、同じく韓国ソウルで開催された「オペラ・ガラコンサート」に出演。また、上海音楽院と昭和音楽大学の交流オペラ公演「フィガロの結婚」のケルビーノで出演するなど年々活動範囲を広げており、今後の活躍が期待される新進メゾ・ソプラノ。藤原歌劇団団員。

645字



DEPAPEPE

徳岡慶也と三浦拓也で結成されたアコースティックインストギターデュオ。

アコースティックギター2本で、唄っているかのようなメロディーで、心象風景や喜怒哀楽といった感情、四季折々の情緒を表現する。

日本だけにとどまらず、タイ、インドネシア、韓国、中国といった世界を舞台に活躍。

「インストミュージックをポピュラーに!」を掲げ、国境、世代も越えて勢力的に活動中!

188字

な



NAOTO(Vn)

東京芸術大学附属音楽高校、同大学音楽学部器楽科卒業。ジャンルレスで華麗なパフォーマンスで人気を博し、ドラマ「のだめカンタービレ」で注目を集める。最新作はNHK「スタジオパークからこんにちは」テーマ曲を含む「Gift」。独特の感性と切れ味鋭い超絶技術、ハイノートの美しさが名だたるアーティスト達にも愛され、ASIAN KUNG-FU GENERATION、大黒摩季、世良公則、渡辺香津美、グレン・ミラー・オーケストラの公演にゲスト参加し、華を添える。

198字



中井亮一(Ten)

山口県出身。名古屋芸術大学音楽学部声楽科を首席で卒業、同大学大学院修了。05年よりイタリアに留学。スカラ座音楽院オペラ研修所で研鑽を積みディプロマを取得。その間、スカラ座公演「コジ・ファン・トゥッテ」のほか、イタリア各地で「椿姫」「結婚手形」「ドン・パスクアーレ」「道化師」「ランスへの旅」等のオペラやコンサートに多数出演。

帰国後は藤原歌劇団「タンクレーディ」「夢遊病の女」「ファルス・タッフ」「ランスへの旅」「セビリヤの理髪師」で好評を博すほか、新国立劇場、東京文化会館、日生劇場、愛知県芸術劇場をはじめ全国各地で多数のオペラに出演。13年には佐渡裕プロデュースオペラ「セビリヤの理髪師」伯爵役を好演。「第九」「メサイア」などの合唱曲ソリストとしても20作品以上出演し、Nコン審査員や男声合唱団の指導など合唱分野でも活躍。さらに学校巡回オペラ公演及びアウトリーチ、病院や高齢者施設等への慰問演奏会など活動の場を広げている。

2017年日本オペラ協会に「ミスター・シンデレラ」の伊集院正男役で初登場し、続く2018年には「夕鶴」に与ひょう役を好演。今後も18年藤原歌劇団「ドン・ジョヴァンニ」「ドン・オッターヴィオ」、19年日本オペラ協会「静と義経」の義経に出演が決まっている。

桜美林大学講師。名古屋二期会研修所講師。(財)地域創造おんかつ事業登録アーティスト。藤原歌劇団団員。日本オペラ協会会員。

585字

は



藤田真央(Pf)

1998年東京都生まれ。3歳からピアノを始める。2017年大学1年在学中に、第27回クララ・ハスキル国際ピアノ・コンクールで優勝。併せて「青年批評家賞」「聴衆賞」「現代曲賞」を受賞し、一躍世界の注目を浴びる。

幼少のころから全日本学生音楽コンクール(小学校の部)第1位、2016年浜松国際ピアノアカデミーコンクール第1位など受賞を重ねると同時に、ショパン国際音楽祭、アッシジ音楽祭などに招かれ演奏。オーケストラとの共演も多い。

CDはナクソス・ジャパンからリリース。最新盤『パッセージ』も話題を呼んでいる。

特別特待奨学生として東京音楽大学ピアノ演奏家コース・エクセレンスに在学。ピアノを野島稔、鷺見加寿子、佐藤彦大の各氏に、ソルフェージュを西尾洋氏に師事。平成29年度公益財団法人青山財団奨学生。

公式ホームページ <https://www.maofujita.com/>

308字



麻衣(Vo)

作曲家 久石譲を父に持つ。2歳からピアノを始める。4歳時には、映画「風の谷のナウシカ」幼少時回想シーンで流れる『ナウシカ・レクイエム』(ラン ラン ララ～)をうたい大きな印象を残した。6歳からNHK東京放送児童合唱団(現NHK東京児童合唱団)に所属。卒団まで意欲的にコーラス活動を行う。2005年韓国映画「トンマッコルへようこそ」テーマ曲によりソロ活動を本格化。2007年久石譲作曲、日産スカイラインCM曲『I will be』では作詞も手がける。2008年宮崎駿監督「崖の上のポニョ」のイメージアルバムに収録された『ひまわりの家の輪舞曲』をうたい、本編にもヴォイスで参加。同年8月、日本武道館で開催された「崖の上のポニョ公開記念 久石譲 in 武道館～宮崎アニメと共に歩んだ25年間～」にゲストヴォーカリストとして出演した。2009年4月から放映されたサントリー天然水CM曲では、透き通った歌声で注目を集める。2010年12月にはファーストアルバム『麻衣』を発表。2011年7月に全世界で公開された映画「ハリーポッターと死の秘宝 Part 2」のオープニングテーマを、同年12月のNHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」第3部主題歌『Stand Alone』をうたう。2013年11月公開の映画「BAYONETTA Bloody Fate」主題歌『Night, I Stand』を作詞・作曲・歌唱。自身の世界観を存分に発揮した。2014年6月には、父である久石譲の出身地で、唱歌『故郷』のふるさとでもある長野県中野市の音楽親善アンバサダーに就任。「音楽のある豊かな心」の普及を目指し、日々うたい続けている

608字



松下奈緒(Pf,総合司会)

1985年2月8日、兵庫県出身。2004年女優デビュー後、数々の映画・ドラマで主演を務める。2010年NHK朝の連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」ではヒロインを務め、同年NHK紅白歌合戦では紅組の司会も務めた。また、ドラマの主題歌であった「ありがとう」を演奏した。アーティストとしても活躍し、これまでにオリジナルアルバム8枚をリリースし、ビルボードライブやブルーノート、全国コンサートツアーと精力的に活動をしている。

206字



松田理奈(Vn)

2001年第10回日本モーツァルト音楽コンクール第1位。2002年にはトッパンホールで「16才のイザイ弾き」というテーマでソロリサイタル開催。2004年、第73回日本音楽コンクール第1位、2007年にはサラサーテ国際コンクールにてディプロマ入賞。これまで国内の主要オーケストラに加え、ハンガリー国立フィル、ヤナーチェク・フィル、ベトナム響など数々の楽団や著名指揮者と共演。2006年ビクターより『ドルチェ・リナ』、2008年に『カルメン』、2010年には『ラヴェル・ライブ』をリリース。イザイの無伴奏ヴァイオリン・ソナタ全曲集は、「レコード芸術」特選盤に選出された。

350字



三浦一馬(バンドネオン)

10歳でバンドネオンを始める。2006年に別府アルゲリッチ音楽祭にてバンドネオン界の最高峰ネストル・マルコーニ氏と出会い、その後自作CDの売上で渡航費を捻出してアルゼンチンに渡り、現在に至るまで氏に師事。08年国際ピアソラ・コンクールで日本人初、史上最年少で準優勝。09年、ビクターエンタテインメント(株)よりCDデビュー。2011年別府アルゲリッチ音楽祭に出演し、マルタ・アルゲリッチ女史やユーリー・バシュメット氏らと共演して大きな話題と絶賛を呼んだ。2017年には自らが率いる室内オーケストラ「東京グランド・ソロイスツ」を結成、同年11月には埼玉県「久喜市くき親善大使」に就任。

276字

や



鳥取県立米子東高等学校3年次に第49回全国高等学校総合音楽祭鳥取県大会ソロ部門に於いて器楽・声楽共に最優秀賞受賞。第50回瀧廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクールに出場。東京学芸大学教育学部高等教育教員養成課程音楽科クラリネット専修を経て、東京藝術大学音楽学部声楽科バス専攻に入学。3年次にテノールに転向後、安宅賞受賞。同大学をアカンサス音楽賞、同声会音楽賞、松田トシ賞を得て首席卒業。2008年第39回イタリア声楽コンクール・ミラノ大賞部門第1位受賞。2009年日伊声楽コンクール第1位及び歌曲賞受賞。2010年公益財団法人エネルギー文化・スポーツ財団より第15回エネルギー音楽賞受賞。同年第1回武藤舞海外研修助成奨学金を得て渡伊、2011年イタリア・ミラノ・ヴェルディ音楽院ピエンニオ・声楽コース修了。2012年東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程声楽(オペラ)専攻を大学院アカンサス音楽賞を得て首席修了。W.A.モーツァルト『イドメネオ』イドメネオ及び大司祭、『コジ・ファン・トゥッテ』フエルランド(抜粋)、G.ヴェルディ『椿姫』アルフレード及びガストーネ、『運命の力』ドン・アルヴァーロ(抜粋)、R.レオンカヴァッロ『道化師』ペッペ、J.シュトラウス2世『こうもり』アルフレード、G.ドニゼッティ『愛の妙薬』ネモリーノの諸役に出演。コンサートソリストとしてはベートーヴェン「第九」、G.プッチーニ「グローリア・ミサ」、F.シューベルト「ミサ曲第2番ト長調D.167」、F.ラッハナー「レクイエム(日本初演)」、サン＝サーンス「レクイエム」、G.ロッシーニ「小荘厳ミサ曲」などを歌う。2013年シャネルピグマリオン参加アーティスト。2013年7-8月、東京二期会『ホフマン物語』ナタナエルとホフマン役のカヴァーを務めた。さらにオーディションを経て2014年2月東京二期会『ドン・カルロ』タイトル・ロールで絶賛を博す。2015年2月東京二期会・パルマ王立歌劇場『リゴレット』マントヴァ公爵に出演。期待の新星として注目を集めている。平成26年度(第25回)五島記念文化賞オペラ新人賞受賞を受賞し、現在イタリア・マントヴァへ留学中。(2018年3月帰国予定)2014年11月26日待望のファーストアルバム「Mi manchi」(ミ・マンキ)をキングレコードよりリリース。

山本耕平(Ten)

984字

い

ら



柔らかく、上品で滑らかな生地「Velvet」(ヴェルヴェット)に由来。メンバーは4人で、全員が音楽大学を卒業し、テノール3人バリトン1人で構成されたヴォーカル・グループ。クラシックはもちろん、ロックやポップス、日本の民謡に至るまで様々なジャンルの歌を自在に表現し、独自の世界を作り上げている。2018年6月に宝塚歌劇団OGとのコラボレーションを開催。

LE VELVETS

166字

わ